

鈴木成高 すずきなりたか 西洋史學者、文學博士。明治四十年二月十一日高知縣生れ（一九〇七）。昭和四年京都帝國大學文學部西洋史學科卒。著「高等學校教授、早稻田大學教授歴任」。

譯著書、ランケ著『世界史概観』（相原信作共譯、昭和十六年十一月十五日岩波書店「岩波文庫」）、『歴史的國家の理念』（昭和十六年十一月二十日弘文堂書房）、『世界史の立場と日本』（合著・藤田親昌編、昭和十八年二月二十五日中央公論社）、『近代の起克―知的協力會議』（合著、昭和十八年七月二十日創元社）、『敗戦の倫理』（合著・岸田國士編、昭和二十一年五月一日長野・靜詩會出版部「郷土文化叢書」）、『世界と人間性―歴史の考察』（昭和二十一年七月二十日弘文堂書房）、ブルクハルト著『レナブラント』（譯、昭和二十四年二月十五日弘文堂「アテネ文庫」）、『世界の運命と國家の運命』（昭和二十四年四月一日京都・甲文社）、『世界危機と現代思想』（合著・草薙正夫編、昭和二十九年四月二十日理想社）、『トインビー―人と史観』（合著・社会思想研究会編、昭和三十一年二月十五日社会思想研究会出版部）、『ジーン・ポ思想の饗宴』（合著・唐木順二編、昭和四十四年二月十五日国際日本研究所、創文社発売）等。